





### 「明治150年記念式典」に参加して

薩摩川内支部  
県隊友会 常務理事 兒玉健二郎氏

今年、明治維新から150年目を迎えるが、鹿児島県では、去る5月25日(金)県総合体育センター体育館に秋篠宮・同妃両殿下をお迎えして、「明治150年記念式典」が盛大に実施された。



筆者 兒玉健二郎氏

私は、今から50年前皇太子時代の今の天皇・皇后両陛下をお迎えして実施された「明治100年記念式典」において、中学生代表として「県民決意の言葉」を述べたが今回、県庁からお誘いがあり、因らざるに再び記念式典出席の機会を得た。当初は、単なる招待者としての参加であろうと思っていたが、現代の青少年たちが「県民決意の言葉」を述べるので、50年前の発表者として「世代を繋ぐ言葉」が欲しいとのことであり、50年振りに再び登壇することとなった。

今年、NHKの大河ドラマ「西郷どん」の影響もあり、明治維新において活躍された鹿児島県の先人たちの活躍が話題になっているが、現代を生きる青少年代表として小・中・高の男女6人の若者たちが、明治維新において活躍された郷土の偉人たちの思い起こし、鹿児島県人としての誇りを持って、将来の夢や希望を力強く発表する姿に接し、感慨深いものがあり、また、非常に頼もしく思った。

しかしながら、その後第二部として県知事をコトネーターとして実施された公開ディスカッションにおいては、明治維新直前の1865年に薩摩藩が串木野の羽島から若者たちを出国させた「薩摩藩英国留学生」をテーマにして、県内の各高校から選ばれた頭のよさそうな高校生代表男女6人が、「当時、留学生たちは何を学びに行つたのか、自分だったら何を学びたいか」などという観点から発表したが、誰一人、当時の時代背景等を踏まえ、「近代国家として、強大な軍事力を背景とした、近代国家と交」などについて述べる者はおらず、非現実的なあまりにもきれいごとの夢物語ばかりで、聞いて

いて何かしら違和感を感じ、非常に不安な気持ちにさせられた。1853年のペリー来航以来、強大な軍事力を背景とした欧米の植民地支配から日本を守るためには、幕藩体制や尊王攘夷思想では立ち向かえず薩摩藩においては、島津斉彬による大政奉還・明治維新に向けた準備が着々と進められていたが、斉彬亡き後、生麦事件の結果、薩英戦争となり、鹿児島城下は大きな被害を受けることとなった。その3年後の「薩摩藩英国留学生」の派遣であり、端的に言えば、斉彬の遺志を継ぎ、急遽、英国に「近代国家としての富国強兵」を学びに行かせた、というのが私の認識であり、その「富国強兵」思想こそが、明治維新後の日本の近代国家としての歩みの基礎でありひいては、日清・日露戦

争の勝利に繋がり、日本が列強欧米諸国と肩を並べた近代国家になつていったものではなかるうか。その「富国強兵」の「富国」の部分だけが強調され、「強兵」の部分がすつぽりと抜け落ちていくのである。日本を取り巻く国際環境が150年前の明治維新当時以上に緊迫しつつある現在、国家として「強兵」「軍事」の思想をタブー視し、正しい明治維新の歴史的背景を教えず、正しい日本の「近代史」を殆ど教えてこなかった戦後教育の弊害を痛切に感じ、我々は「明治維新から何を学ぶべきか」を真剣に考える必要があると思つた。

常務理事 兒玉健二郎氏

令官を最後に平成18年に退官され、現在双日総合研究所防衛・安全保障チーム上席客員研究員として活躍中である。演題は「あなたと人間美学は何ですか？」であり講師は自衛隊の勤務の宣誓を画面に出され、人のため国家のため事に臨んでは危険を顧みず尽くすことが自分の美学であるとされた。このため高校生に日本を取り巻く安全保障上の国際情勢、日本の危機管理状況、自衛隊の活動、その中で講師の在職中のスクランブルや海外勤務等を分かり易く紹介された。生徒に対して自分の進む道において自分の美学を見つけて欲しいと結ばれ後輩への愛情溢れた講話は成功裡に終了した。

始良支部、加治木支部及び始良市家族会の会員は、平成30年4月21日県立加治木高校創立121周年記念講話を聴講した。講師は元空将永岩氏で加治木高校を卒業後防大(15期)に進学、その後空自でF15のパイロットとして国防の第一線で活躍、航空支援集団司

宇都議員の講話を聴く会員達

### 永岩元空将 母校で講話

令官を最後に平成18年に退官され、現在双日総合研究所防衛・安全保障チーム上席客員研究員として活躍中である。演題は「あなたと人間美学は何ですか？」であり講師は自衛隊の勤務の宣誓を画面に出され、人のため国家のため事に臨んでは危険を顧みず尽くすことが自分の美学であるとされた。このため高校生に日本を取り巻く安全保障上の国際情勢、日本の危機管理状況、自衛隊の活動、その中で講師の在職中のスクランブルや海外勤務等を分かり易く紹介された。生徒に対して自分の進む道において自分の美学を見つけて欲しいと結ばれ後輩への愛情溢れた講話は成功裡に終了した。

宇都議員の講話を聴く会員達

### 万世特攻慰 祭に参加

4月8日第47回万世特攻慰霊祭が、南さつま市高橋の万世特攻平和祈念館萬世「よろずよ」の碑の下において、約300人の遺族、旧隊員らが

全国から参列した。隊友会からは、地元南さつま支部、金峰支部、隣接のいちき串木野支部伊集院支部、県からは、隊友会、郷友会、偕行会及び戦没者墓地顕揚会の各会長、国会議員等の参列があつた。

再編成により陸軍最後の「幻」の特攻基地として4ヵ月稼働し201人の戦死者を出している。南さつま支部長 竹之内 純一 記

### 出水支部の 論議風発

出水支部は4月6日、年度初めの行事である花見会を実施した。今年例年になく早々と葉桜となり、桜花爛漫の時期に盃を交わすことはできなかつたが、寒風吹きすさぶ異常気象の中南シナ海から朝鮮半島までの安全保障環境を熱く語り、併せて昨年からのスコミや野党議員による森友・加計学園獣医学部開設問題に関して、情報媒体はテレビ及び新聞から

させられた。金峰支部長 掛上 恕 記

のが会員減少の一因にもなっている。中には、色々な特技を有する会員もおり、一例を挙げると西村翁だ。武道の達人であり、老婦人達に護身術(杖道)を教え、今では有段者を生み婦人達の元気な声が金峰武道館に響き渡っている。

最近の支部活動では、4月8日(日)午前中に万世特攻慰霊祭が、特攻碑の前で盛大に実施され支部上げての行事として参加する。時は流れ、献花の時真っ白い菊の花をいただき、碑を見上げながら若き命を捧げた事実を事実として、平和の尊さを、またその命を無駄に語り継ぐ大事さを考え

望を力強く発表する姿に接し、感慨深いものがあり、また、非常に頼もしく思った。

望を力強く発表する姿に接し、感慨深いものがあり、また、非常に頼もしく思った。

何一つ話題性のない田舎支部。会員11人のロートル集団だ。80歳以上5人、70歳に近い会員6人の年齢構成だ。企業もなく、働く所もなく、離職者も田舎には帰ってこない。親の面倒見が終わると、医療等充実の都市へ移動して行く

出た。金峰支部長 掛上 恕 記



慰霊祭参加の支部長達



出水支部花見の論議風発状況



特攻慰霊碑への献花



防衛講演会を主催 碩悟瀬戸内支部長

なかま法律事務所 加治屋町電停・バス停より徒歩4分 鹿児島市加治屋町 15-20 099-216-8788

伊集院支部 園田 将男 国分支部 白石 孝浩 鹿児島地協 福崎 國行 杉本 太吉

護んでご冥福をお祈りしま

### 沖永良部島の魅力

第55警戒隊  
西牟田侑樹空士



筆者 西牟田侑樹空士長

皆さんこんにちは。私は現在、沖永良部島に所在する空自第55警戒隊で勤務しています。月日が流れるのは早いもので、私がこの沖永良部島に赴任して、はや6年が経とうとしています。この間私自身が感じた沖永良部島の魅力について、紹介していきたい

と思います。みなさんは沖永良部島と聞いて何を思い浮かべますか？

沖永良部島では、エラブリ、サトウキビそしてジャガイモなどの農産物の栽培が盛んで、また日本一のガジュマルの木サンゴ礁の美しい海と真っ白い砂浜のビーチ、雄大な景観を誇る岬など、魅力ある観光スポットが数多くあります。その中でも、鹿児島県の天然記念物に指定されている昇竜洞をはじめとする、大小200から300にも及ぶ大鍾乳洞群が、数多く見られることから沖永良部島は、「洞窟の聖地」と言われており、私も昇竜洞へ訪れたときは、異空間と絶景に感動しました。これらのことから、沖

永良部島は「花と鍾乳洞の島」という異名を持っているそうです。また私たちの部隊は、浜辺の清掃ボランティアや夏祭りの会場設営、交通安全運動への参加等、町の様々な行事に参加することにより、地域の方々との親睦を深めています。地域の方々も私たちが温かく受け入れてくれており、とても友好的に接して頂いています。

人口約1万3千人程の小さな島ですが、自然と人情に溢れる素晴らしい島だと感じています。最後に、今後も引き続き沖永良部島の更なる魅力を発掘するとともに、地域の行事へも積極的に参加することにより地域の方々との親交を深め、皆様から信頼され、そして愛される分屯基地を目指してまいります。

### 隊員紹介 私の趣味 ゴルフ

川内駐屯地 8施大 有馬侑騎 3陸曹

私はこれまで趣味というものがありませんでした。休日は特に何もせず漠然と過ごし、時間を持て余していました。そんな時、職場の先輩に勧められて「ゴルフ」と出会いました。最初は父のゴルフ道具を借りてボールを回りましたが、ボールを前に飛ばすことが全くとできず、一緒に回ってくれる人達に迷惑をかけてしまいました。私は、今まで職場の人達と仕事ではなくプライベートで接する事がなかったため、この大自然の中で経験がとて新鮮に感じ、楽しむことがで



筆者 有馬 3陸曹

きました。今まで知らなかった上司や同僚の新たな一面を見ることができ、もつと練習して上達し、この様な機会を増やしていきたいと思えました。それからは、暇があれば自らゴルフショップに足を運びゴルフ道具を眺めるようになり、気が付けば今までただ漠然と過ごしていた休日が、とても有意義なものになっていました。たつた一つのきっかけで、何気ない休日が楽しみなものに変えることができましたのです。私達自衛官は、国防の

まだ趣味のない方がいいれば、自分が充実できる何かを一つ見つけてみてはいかがでしょうか。川内駐屯地 8施大 1中 有馬侑騎 3陸曹 記

### 定年、還暦、そして年男

国分駐屯地 警務隊 坂口雅之 氏

私は、昭和52年に入隊し、今年12月に定年



警務隊 坂口雅之陸曹長

最前線で働いています。有事の際には、直ちに出動しなければならぬからこそ、平素は余暇を活用し、趣味や自分の好きなことに取組み、プライベートを充実させることが重要です。そうすることでオンとオフがしっかりと区別でき、より一層職務に専念できると思います。

迎えることから、まさしく盆と正月を一度に迎えるような心境です。振り返りますと、陸曹になりたての頃は、54歳で定年を迎えるはずでしたが、約20年前に実施された職域定年延長施策により、定年が60歳へと延長されこれまでのライフプランを大きく見直すこととなりました。幸いなことに、子供は現職のうちに手元を離れ社会人となったので、少し肩の荷が下りたように感じます。ただこの先、高齢の両

親を介護することになると予想されるので、これまで以上に健康の維持・管理に留意しながら残りの自衛官としての勤務を有意義に過ごしたいと思

特養老人ホーム仙寿の里 徳之島支部 即予3陸曹 時 博幸 記

これは、これからも徳之島ならではの地域力を基に、「地域に愛される子供達」と「未来の金メダリスト」の育成に精進していきたいと思

エアメモ 鹿屋航空基地

私は、航空機整備員として勤務していますが、今回「エアメモリアル」の準備室に派出になり、今までは全く違う業務となるため不安ばかりの思いで参加しました。一方、民間の方との会議等慣れないことも多くありましたが、貴重な経

始良市には、自衛隊で

開催当日、来場者を見て半年間頑張ってきた甲斐があ

中何回も失敗しながら、周りの方達の支援や、時には前任者に教えてもらったり、何とか自分に与えられた業務をこなして

そのために、日頃から自衛隊や隊友会等との関わりをもち、積極的に各種



P3-Cとの綱引き

つたと安堵の気持ちになりました。エアメモの準備期間は約半年であり、昨年度の反省を基に、今年の準備を進めていきました。途

富吉輝明記

### 結いの島から目指す五輪

即予備自衛官3曹 時博幸 氏

徳之島レスリングクラブは、平成26年6月に創部しました。創部時は小学1、2年生が6人でしたが、年々入部する子



徳之島レスリングクラブの練習風景

### 第2の人生 について

始良市役所

私は、平成28年10月自衛隊を定年退職し、昨年4月から鹿児島県始良市役所総務部危機管理

供達が増え、現在は4歳から中3生まで19人の選手が在籍しています。創部当初は練習場所や用具など不足していましたが、高校や自衛隊時代の先輩方の支援も有り、現在は廃校になった高校の体育館に、レスリング用マットを常設して、週3回の練習ができる環境になりました。また昨年参加している、九州少年少女レスリング選手権大会では、2連覇した選手を含め、毎年5人ほど入賞するまでに成長しました。これは諸先輩、保護者の方々や地域の方々のご協力等があつての事だと考えています。これからも徳之島ならではの地域力を基に、「地域に愛される子供達」と「未来の金メダリスト」の育成に精進していきたいと思

課に、地域防災専門官として勤務し、早1年が過ぎました。自衛隊勤務約37年間は、部隊を主に勤務して来ましたが、約20回の災害派遣を経験するとともに、普通科連隊の幕僚として自治体等防災関係機関の方々とも数多く接する機会を得ることができ

その道を選びました。そのため、定年前に危機管理教育を希望し、朝霞駐屯地で行われた平成28年度第1回危機管理教育に入校して、防災士及び地域防災マネージャーの資格をとりました。その中で一番の収穫は防災に関する知識を得られたことと、全国各地に同じく就職した同期を得られたことです。その同期の中には、宮城県南三陸町の危機管理監に就職した方もおり、全国各地の自治体防災関係者としてつながりがあることは、これからの仕事に大きく役立つものと思



始良市役所 富吉輝明氏

特に私に与えられた役割として、行政と自衛隊隊友会として行政と隊友会等自衛隊関係者との懸け橋としてその役を担っており、災害時等に於いてそれら関係機関がスムーズに連携できるようになることが求められる重要な責任を背負っております。そのため、日頃から自衛隊や隊友会等との関わりをもち、積極的に各種

行事に参加して人との付き合いを大事にしたいと思

最後に、私の就職にあたり、尽力していただいた隊友会始良支部長をはじめ、国分駐屯地援護センター長等に改めて感謝を申し上げます。

### 防衛省団体扱い自動車保険(指定店)

この団体扱いは一般契約に比べて保険料が

# なんと19%割安です

\*初回の契約時に退職時の辞令書又は在職証明書が必要です。

●詳しい事は………

連絡先: **099-229-4103**  
FAX: 099-229-5176

[引受保険会社]  
損害保険ジャパン 代理店 ASJ鹿児島

※中古車販売及び車検も承ります。

安田 勇康 (隊友会員)

### 〈業務内容〉

- ◆ 叙勲受章に際してのトータル的なアドバイス
- ◆ 拝謁上京時のご案内
- ◆ 叙勲額・大臣表彰額及び特注額の販売
- ◆ 叙勲・大臣表彰等各種記念品及び贈答品の販売

※ 叙位叙勲受章のご家族もお電話でお尋ね下さい

たからてんじんど

## 株式会社 寶天神堂

鹿児島市伊敷8-3-12 電話: 099-218-4081  
HP: <http://www.jokun-iino.jp>













### 「明治150年記念式典」に参加して 薩摩川内支部 県隊友会 常務理事 兒玉健二郎氏

今年、明治維新から150年目を迎えるが、鹿児島県では、去る5月25日(金)県総合体育センター体育館に秋篠宮・同妃両殿下をお迎えして、「明治150年記念式典」が盛大に実施された。

私は、今から50年前皇太子時代の今の天皇・皇后両陛下をお迎えして実施された「明治100年記念式典」において、中学生代表として「県民決意の言葉」を述べたが今回、県庁からお誘いがあり、凶らず再び記念式典に出席の機会を得た。

当初は、単なる招待者としての参加であろうと思っていたが、現代の青少年たちが「県民決意の言葉」を述べるので、50年前の発表者として「世代を繋ぐ言葉」が欲しいとのことであり、50年振りに再び登壇することとなった。

今年、NHKの大河ドラマ「西郷どん」の影響もあり、明治維新において活躍された鹿児島県の先人たちの活躍が話題になっているが、現代を生きる青少年代表として小・中・高の男女6人の若者たちが、明治維新において活躍された郷土の偉人たちの思い起こし、鹿児島県人としての誇りを持って、将来の夢や希望を力強く発表する姿に接し、感慨深いものがあり、また、非常に頼もしく思った。

しかしながら、その後第二部として県知事をコトネイターとして実施された公開ディスカッションにおいては、明治維新直前の1865年に薩摩藩が串木野の羽島から若者たち出国させた「薩摩藩英国留学生」をテーマにして、県内の各高校から選ばれた頭のよさそうな高校生代表男女6人が、「当時、留学生たちは何を学びに行つたのか、自分だったら何を学びたいか」などという観点から発表したが、誰一人、当時の時代背景等を踏まえ、「近代国家として、強大な軍事力を背景とした、近代国家と交」などについて述べる者はおらず、非現実的なあまりにもきれいごとの夢物語ばかりで、聞いて



筆者 兒玉健二郎氏

### 金峰支部紹介

何一つ話題性のない田舎支部。会員11人の1人1人がトータル集団だ。80歳以上5人、70歳に近い会員6人の年齢構成だ。

企業もなく、働く所もなく、離職者も田舎には帰ってこない。親の面倒見が終わると、医療等充実の都市へ移動して行く



慰霊祭参加の支部長達

のが会員減少の一因にもなっている。

中には、色々な特技を有する会員もおり、一例を挙げると西村翁だ。武道の達人であり、老婦人達に護身術(杖道)を教え、今では有段者を生み出している。

最近の支部活動では、4月8日(日)午前中に万世特攻慰霊祭が、特攻碑の前で盛大に実施され支部上げての行事として参加する。時は流れ、献花の時真っ白い菊の花をいただき、碑を見上げながら若き命を捧げた事実を事実として、平和の尊さを、またその命を無駄にしないためにも、後世に語り継ぐ大事さを考え

望を力強く発表する姿に接し、感慨深いものがあり、また、非常に頼もしく思った。

しかしながら、その後第二部として県知事をコトネイターとして実施された公開ディスカッションにおいては、明治維新直前の1865年に薩摩藩が串木野の羽島から若者たち出国させた「薩摩藩英国留学生」をテーマにして、県内の各高校から選ばれた頭のよさそうな高校生代表男女6人が、「当時、留学生たちは何を学びに行つたのか、自分だったら何を学びたいか」などという観点から発表したが、誰一人、当時の時代背景等を踏まえ、「近代国家として、強大な軍事力を背景とした、近代国家と交」などについて述べる者はおらず、非現実的なあまりにもきれいごとの夢物語ばかりで、聞いて

いて何かしら違和感を感じ、非常に不安な気持ちにさせられた。

1853年のペリー来航以来、強大な軍事力を背景とした欧米の植民地支配から日本を守るためには、幕藩体制や尊王攘夷思想では立ち向かえず薩摩藩においては、島津斉彬による大政奉還・明治維新に向けた準備が着々と進められていたが、斉彬亡き後、生麦事件の結果、薩英戦争となり、鹿児島城下は大きな被害を受けることとなった。

その3年後の「薩摩藩英国留学生」の派遣であり、端的に言えば、斉彬の遺志を継ぎ、急遽、英国に「近代国家としての富国強兵」を学びに行かせた、というのが私の認識であり、その「富国強兵」思想こそが、明治維新後の日本の近代国家としての歩みの基礎でありひいては、日清・日露戦

### 出水支部の論議風発

出水支部

出水支部は4月6日、年度初めの行事である花見会を実施した。

今年例年になく早々と葉桜となり、桜花爛漫の時期に盃を交わすことができなかったが、寒風吹きすさぶ異常気象の中南シナ海から朝鮮半島までの安全保障環境を熱く語り、併せて昨年からのスコミや野党議員による森友・加計学園獣医学部開設問題に関して、情報媒体はテレビ及び新聞から

さらされた。

金峰支部長 掛上恕 記



出水支部花見の論議風発状況

### 永岩元空将 母校で講話

始良支部、加治木支部及び始良市家族会の会員は、平成30年4月21日県立加治木高校創立121周年記念講話を聴講した。

講師は元空将永岩氏で加治木高校を卒業後防大(15期)に進学、その後空自でF15のパイロットとして国防の第一線で活躍、航空支援集団司



永岩元空将の講話を聴く加治木高校生

令官を最後に平成18年に退官され、現在双日総合研究所防衛・安全保障チーム上席客員研究員として活躍中である。

演題は「あなたの人間美学は何ですか？」であり講師は自衛隊の勤務の宣誓を画面に出され、人のため国家のため事に臨んでは危険を顧みず尽くすことが自分の美学であるとされた。

このため高校生に日本を取り巻く安全保障上の国際情勢、日本の危機管理状況、自衛隊の活動、その中の講師の在職中のスクランブルや海外勤務等を分かり易く紹介された。

生徒に対して自分の進む道において自分の美学を見つけて欲しいと結ばれ後輩への愛情溢れた講話は成功裡に終了した。

始良支部相談役 宮口 修一 記

### 万世特攻慰霊祭に参加

4月8日第47回万世特攻慰霊祭が、南さつま市高橋の万世特攻平和祈念館萬世「よろずよ」の碑の下において、約300人の遺族、旧隊員らが

国の思いを語らい、人生同じ道を歩まれたことを肴に美酒を酌み交わしておもしろきおもしろい人生となるよう頑張りませんか、高齢化支部への入会アピールも聞かれた。

最後に、「いつまでも健康で頑張りましょう」の唱和でお開きとなった出水支部 馬見新一記



特攻慰霊碑への献花

### 防衛講演会 を開催 碩悟瀬戸内支部長

瀬戸内支部は4月30日午前自民党瀬戸内支部・瀬戸内町自衛隊家族会と共に参議院議員の宇都隆史先生による防衛講演会を開催しました。

宇都先生の講話内容は①北朝鮮の動向 ②離島防衛(奄美への陸上部隊新設の経緯) ③憲法改正等多岐に亘り、南西諸



宇都議員の講話を聴く会員達

島、特に奄美諸島がこれから国の防衛を果す上で重要正面であることを再認識するとともに、奄美の隊友会員の知識として必要な事柄を聴講し見聞を広めることができました。

今後、支部一丸となり町民の防衛意識の普及と高揚を図る活動が重要であることを認識した聴講でありました。終了後、宇都先生を囲み昼食会を行いました。

瀬戸内支部長 碩悟 記

農地買収が行われ、7月に万世陸軍飛行場が着工され、19年空襲下の突貫工事、官民一体の協力を得て19年末完成し再編成により陸軍最後の「幻」の特攻基地として4ヵ月稼働し201人の戦死者を出している。

南さつま支部長 竹之内 純一 記

遺言・相続 交通事故 企業法務 借金

★他、不動産取引、民事・家事一般、刑事

5分間 無料電話 Q&A

法律相談 30分あたり 5,000円(税別) 予約制

交通事故相談は初回無料(物損のみは除く)

**なかま法律事務所**

加治屋町電停・バス停より徒歩4分

鹿児島市加治屋町 15-20

☎099-216-8788

■営業時間/9:00~18:00 ■休業日/土・日・祝日

HP 検索 なかま法律事務所 鹿児島

伊集院支部 園田 将男  
 国分支部 白石 孝浩  
 鹿児島地協 福崎 國行  
 杉本 太吉



### 沖永良部島の魅力

第55警戒隊  
西牟田侑樹空士



筆者 西牟田侑樹空士長

皆さんこんにちは。私は現在、沖永良部島に所在する空自第55警戒隊で勤務しています。月日が流れるのは早いもので、私がこの沖永良部島に赴任して、はや6年が経とうとしています。この間私自身が感じた沖永良部島の魅力について、紹介していきたい

と思います。みなさんは沖永良部島と聞いて何を思い浮かべますか？

沖永良部島では、エラブユリ、サトウキビそしてジャガイモなどの農産物の栽培が盛んで、また日本一のガジュマルの木サンゴ礁の美しい海と真っ白い砂浜のビーチ、雄大な景観を誇る岬など、魅力ある観光スポットが数多くあります。その中でも、鹿児島県の天然記念物に指定されている昇竜洞をはじめとする、大小200から300にも及ぶ大鍾乳洞群が、数多く見られることから沖永良部島は、「洞窟の聖地」と言われており、私も昇竜洞へ訪れたときは、異空間と絶景に感動しました。これらのことから、沖

永良部島は「花と鍾乳洞の島」という異名を持っているそうです。また私たちの部隊は、浜辺の清掃ボランティアや夏祭りの会場設営、交通安全運動への参加等、町の様々な行事に参加することにより、地域の方々との親睦を深めています。地域の方々も私たちが温かく受け入れてくれており、とても友好的に接して頂いています。

人口約1万3千人程の小さな島ですが、自然と人情に溢れる素晴らしい島だと感じています。最後に、今後も引き続き沖永良部島の更なる魅力を発掘するとともに、地域の行事へも積極的に参加することにより地域の方々との親交を深め、皆様から信頼され、そして愛される分屯基地を目指してまいります。

### 結いの島から目指す五輪

即応予備自衛官3曹  
時博幸氏



徳之島レスリングクラブの練習風景

徳之島レスリングクラブは、平成26年6月に創部しました。創部時は小学1、2年生が6人でしたが、年々入部する子

指し、活動していく所存です。第55警戒隊 基地業務小隊 空士長 西牟田 侑樹 記

### 第2の人生

について

始良市役所

私は、平成28年10月自衛隊を定年退職し、昨年4月から鹿児島県始良市役所総務部危機管理

供達が増え、現在は4歳〜中3生まで19人の選手が在籍しています。創部当初は練習場所や用具など不足していましたが、高校や自衛隊時代の先輩方の支援も有り、現在は廃校になった高校の体育館に、レスリング用マットを常設して、週3回の練習ができる環境になりました。また昨年参加している、九州少年少女レスリング選手権大会では、2連覇した選手を含め、毎年5人ほど入賞するまでに成長しました。これは諸先輩、保護者の方々や地域の方々のご協力等があつての事だと考えています。これからも徳之島ならではの地域力を基に、「地域に愛される子供達」と「未来の金メダリスト」の育成に精進していきたいと思えます。『野性味あふれる紳士・淑女たち』伊仙町社協 特養老人ホーム仙寿の里 徳之島支部 即予3陸曹 時博幸 記

課に、地域防災専門官として勤務し、早1年が過ぎました。自衛隊勤務約37年間は、部隊を主に勤務して来ましたが、約20回の災害派遣を経験するとともに、普通科連隊の幕僚として自治体等防災関係機関の方々とも数多く接する機会を得ることができ、この道を選びました。そのため、定年前に危機管理教育を希望し、朝霞駐屯地で行われた平成28年度第1回危機管理教育に入学して、防災士及び地域防災マネージャーの資格をとりました。その中で一番の収穫は防災に関する知識を得られたとともに、全国各地に同じく就職した同期を得られたことです。その同期の中には、宮城県南三陸町の危機管理監に就任した方もおり、全国各地の自治体防災関係者としてつながりがあることは、これからの仕事に大きく役立つものと思っています。始良市には、自衛隊で



始良市役所 富吉輝明氏

の経験と実績を行政の防災業務に活かす目的で昨年初めて自衛隊OBを採用して頂きました。私の現在の業務は、国民保護及び自衛隊募集業務に関するものが主体であり、まだまだ地方自治の知識が少なく業務の戸惑いがあります。新社会人として頑張っていきたいと思っています。

特に私に与えられた役割として、行政と自衛隊隊友会として行政と隊友会等自衛隊関係者との懸け橋としてその役を担っており、災害時等に於いてそれら関係機関がスムーズに連携できるようにすることが求められる重要な責任を背負っております。そのため、日頃から自衛隊や隊友会等との関わりをもち、積極的に各種

行事に参加して人との付き合いを大事にしていきたいと思っています。最後に私の就職にあたり、尽力いただいた隊友会始良支部長をはじめ、国分駐屯地援護センター長等に改めて感謝を申し上げます。

富吉輝明氏 申し上げますとともに隊友会の一員として少しでも自衛隊並びに国民の皆様へ恩返しができるよう頑張りたいと思います。始良市役所 富吉輝明氏

### 隊員紹介

#### 私の趣味

ゴルフ

川内駐屯地 8施大 有馬侑騎 3陸曹

私はこれまで趣味というものがありませんでした。休日は特に何もせず漠然と過ごし、時間を持て余していました。そんな時、職場の先輩に勧められて「ゴルフ」と出会いました。最初は父のゴルフ道具を借りて父のゴルフ道具を借りてボールを回りましたが、ボールを前に飛ばすことが全くできず、一緒に回ってくれる人達に迷惑をかけてしまいました。私は、今まで職場の人達と仕事ではなくプライベートで接する事がなかったため、この大自然の中で経験がとて新鮮に感じ、楽しむことがで



筆者 有馬 3陸曹

きました。今まで知らなかった上司や同僚の新たな一面を見ることができ、もつと練習して上達し、この様な機会を増やしていきたいと思えました。それからは、暇があれば自らゴルフショップに足を運びゴルフ道具を眺めるようになり、気が付けば今までただ漠然と過ごしていた休日が、とても有意義なものになっていました。 たった一つのきっかけで、何気ない休日が楽しみなものに変えることができましたのです。私達自衛官は、国防の

### 定年、還暦、そして年男

国分駐屯地 警務隊 坂口雅之 氏

私は、昭和52年に入隊し、今年12月に定年

最前線で働いています。有事の際には、直ちに出動しなければならぬからこそ、平素は余暇を活用し、趣味や自分の好きなことに取組み、プライベートを充実させることが重要です。そうすることでオンとオフがしっかりと区別でき、より一層職務に専念できると思います。



警務隊 坂口雅之陸曹長

まだ趣味のない方がいいれば、自分が充実できる何かを一つ見つけてみてはいかがでしょうか。川内駐屯地 8施大 1中 有馬侑騎 3陸曹 記

を迎えることから、まさしく盆と正月を一度に迎えるような心境です。振り返りますと、陸曹になりたての頃は、54歳で定年を迎えるはずでしたが、約20年前に実施された職域定年延長施策により、定年が60歳へと延長されこれまでのライフプランを大きく見直すこととなりました。幸いなことに、子供は現職のうちに手元を離れ社会人となったので、少し肩の荷が下りたように感じます。ただこの先、高齢の両親を介護することになると予想されるので、これまで以上に健康の維持・管理に留意しながら残りの自衛官としての勤務を有意義に過ごしたいと思っています。 国分駐屯地 第135地区警務隊 坂口雅之陸曹長 記

### エアメモ

鹿屋航空基地

私は、航空機整備員として勤務していますが、今回「エアメモリアル」の準備室に派出になり、今までは全く違う業務となるため不安ばかりの思いで参加しました。一方、民間の方との会議等慣れないことも多くありましたが、貴重な経

験になりました。特に、視点の違いや考え方などは大変参考になりました。エアメモの準備期間は約半年であり、昨年度の反省を基に、今年の準備を進めていきました。途中何回も失敗をしながら、周りの方達の支援や、時には前任者に教えてもらったり、何とか自分に与えられた業務をこなして来ました。 開催当日、来場者の楽しそうな姿を見て半年間頑張ってきた甲斐があ

つたと安堵の気持ちになりました。 鹿屋 航空基地 3等海曹 本多繁孝 記



P3-Cとの綱引き

**防衛省団体扱い自動車保険(指定店)**  
この団体扱いは一般契約に比べて保険料が

# なんと19%割安です

\*初回の契約時に退職時の辞令書又は在職証明書が必要です。

●詳しい事は………  
連絡先: **099-229-4103**  
FAX: 099-229-5176

[引受保険会社]  
損害保険ジャパン 代理店 ASJ鹿児島  
※中古車販売及び車検も承ります。

安田 勇 康 (隊友会員)

**〈業務内容〉**

- ◆ 叙勲受章に際してのトータル的なアドバイス
- ◆ 拝謁上京時のご案内
- ◆ 叙勲額・大臣表彰額及び特注額の販売
- ◆ 叙勲・大臣表彰等各種記念品及び贈答品の販売

※ 叙位叙勲受章のご家族もお電話でお尋ね下さい  
たからてんじんどう

## 株式会社 寶天神堂

鹿児島市伊敷8-3-12 電話: 099-218-4081  
HP: <http://www.jokun-iino.jp>

